



ほけんだより

2025年8月31日発行

まゆみの里保育園



まだまだ残暑が続きます。夏の疲れが出やすくなる時期なので、お子様のいつもと違う様子や気になったことなどはお知らせください。健康第一！体調を整えていきましょう。

防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、お子さんにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- ・ 子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- ・ 踏み台になる物はベランダに置かない
- ・ コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・ 遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）

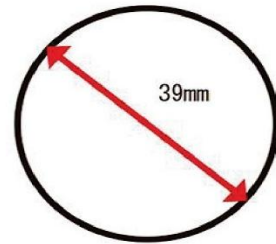


家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、実は事故の危険性が高い場所だということをご存じでしょうか？

0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。



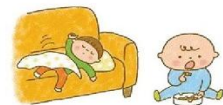
【キッチン】
調理器具によるやけどが多い場所



【ベランダ】
落下事故につながります



【浴室】
水の事故の危険があります



【リビング】
落下や誤飲の事故が多い場所

すり傷の手当



①傷口を水で洗う

強くこすらないように注意し、傷口の泥や砂を水道の流れる水でよく洗いましょう。

②出血があれば止血する

清潔なガーゼを厚めに重ね、血の出ている部分を少し強く圧迫して止血しましょう。

③傷口を乾燥させない

ワセリンを塗るなど傷口を乾燥させないようにしましょう。

★顔の深いすり傷・感染症が心配の場合・すり傷の他に打撲のある場合・異物が傷口に入って取れない場合・いつまでも痛がる場合などケガの程度によっては病院を受診することをお勧めします。